



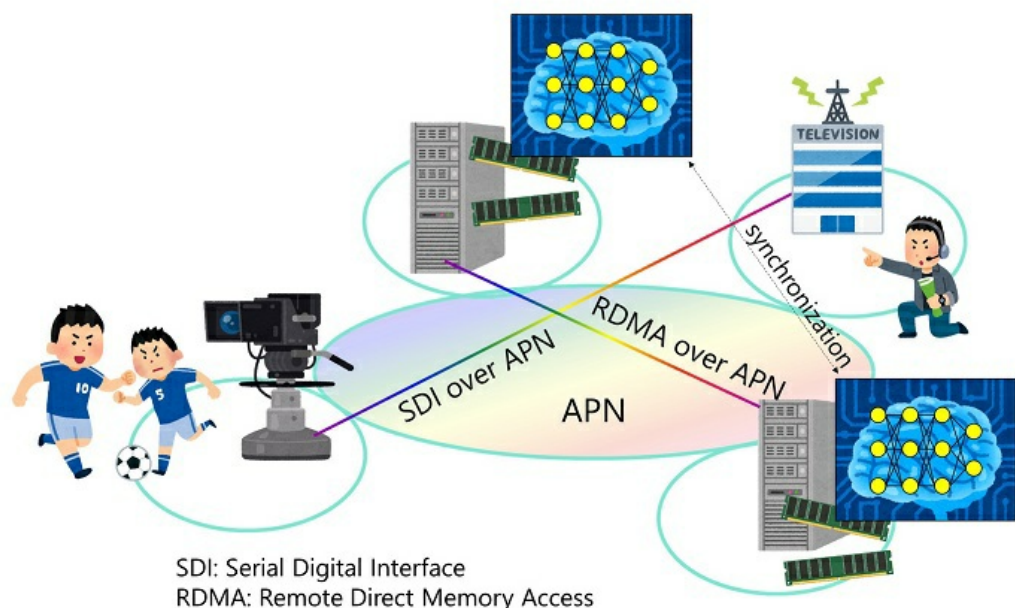
コーデック処理／プロトコル処理を削減してデータを低遅延に転送します

概要

ディスアグリゲーション構成の光伝送装置で8K映像信号直収を可能にし、非圧縮のままAPNを通して、1ミリ秒の低遅延性を実現しました。これにより、スポーツなどの中継番組制作を放送局から実施できます。同様にサーバ間でのデータ通信高速化により、データセンタ間でのバックアップを効率化できます。

Low-latency codec-free/protocol-free transport technology

コーデックやプロトコルの処理を削減してデータを低遅延に転送します



- ディスアグリゲーション構成の光伝送装置に8K非圧縮映像伝送機能を付与し、SMPTE ST 2110による1ミリ秒の低遅延伝送を実現
8K video can be transferred within 1ms by SMPTE ST 2110 utilizing disaggregated transponders equipped with uncompressed video transmission functionality

- RDMA機能を拡張し、帯域距離積100km×100Gbpsを実現
RDMA Queue management functionality is extended to achieve 100km x 100Gbps data-transmission

特徴

- 多種多様なクライアント信号を光通信網に直収することによる低遅延通信の実現
- 高速、大容量、高信頼な光通信網の活用による高速通信の実現

利用シーン

- 中継番組制作／双方向映像コミュニケーション／遠隔医療
- データセンタ間での大容量データ通信

今後の展開

- 今後は、実フィールドにおいてテストサービスをのせて実現性を検証する予定です。

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先 : rdforum-scl-ml@hco.ntt.co.jp